

健全化計画		
5つの目標	目標達成状況を評価する指標	9つのテーマ

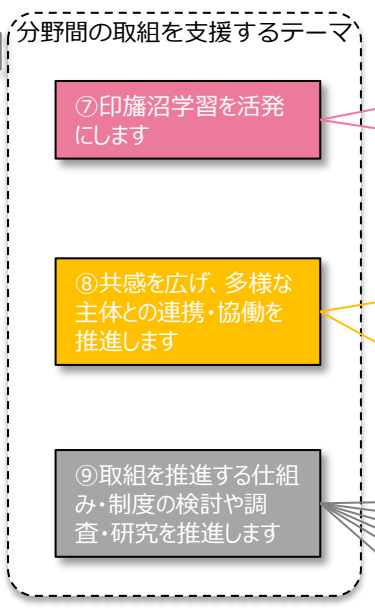
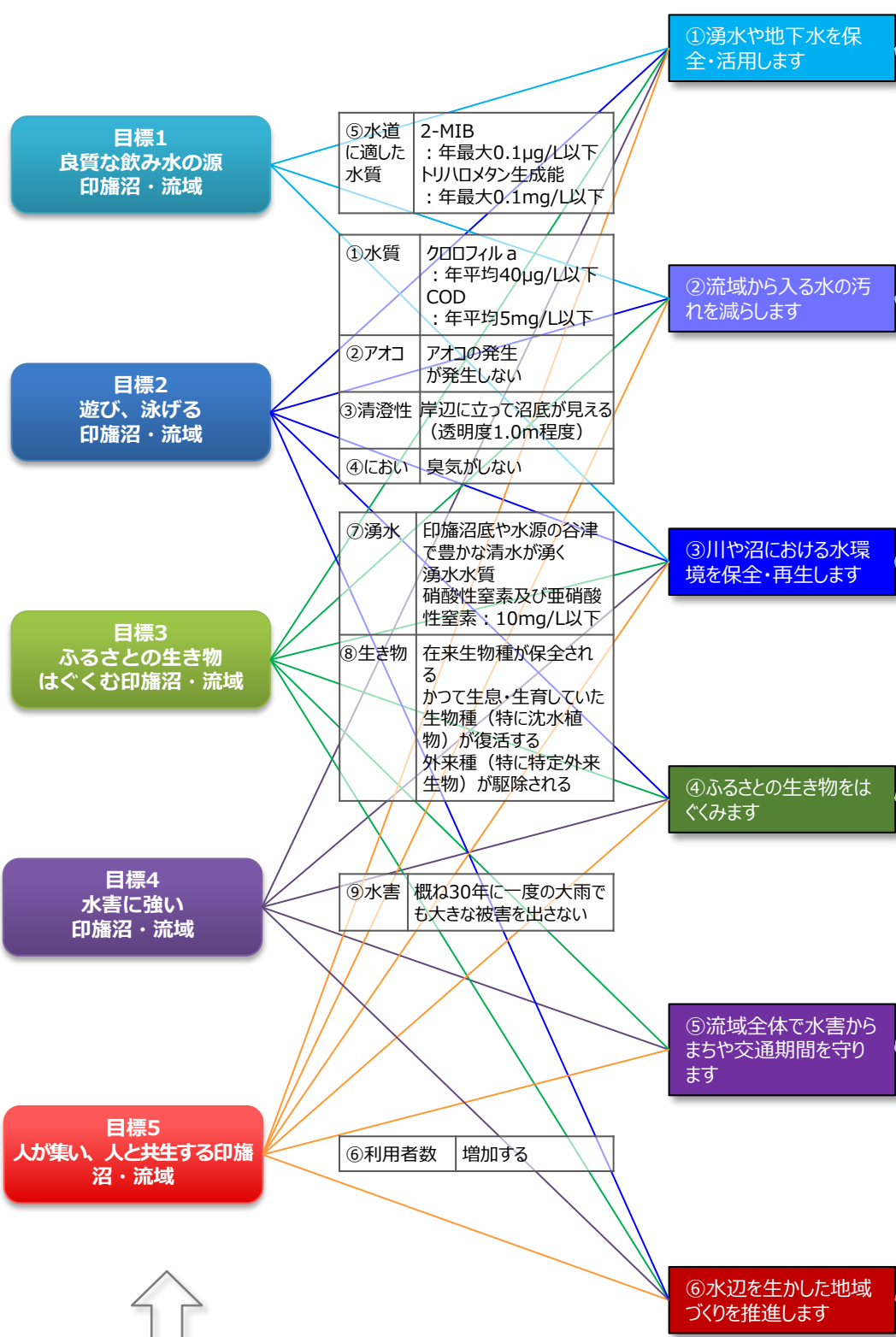
目標1
 良質な飲み水の源
 印旛沼・流域

目標2
 遊び、泳げる
 印旛沼・流域

目標3
 ふるさとの生き物
 はぐくむ印旛沼・流域

目標4
 水害に強い
 印旛沼・流域

目標5
 人が集い、人と共生する印旛
 沼・流域



第3期行動計画									
No	対策群	対策メニュー	取組指標 ※色は各部会の取組から設定した指標	推進対策			目標達成状況を評価する指標		
				選定	進め方				
				分野分け	進め方	推進体制			
1	雨水の貯留・浸透施設の普及	開発行為に係る貯留・浸透施設の設置指導／公共施設における貯留・浸透施設の設置／各戸貯留浸透施設の設置促進／貯留・浸透施設の維持管理／透水性舗装の整備	雨水浸透施設の設置数 (浸透マス、浸透トレンチ) 透水性舗装の整備面積 貯留・浸透施設の設置数	●	流域治水	※1	流域治水部会	★：健全化計画目標に対しての第3期での目標 ⇒現状を踏まえて、第3期での目標を設定 ◆：部会での取組から設定した指標 ⇒取組箇所において効果を評価するために設定	
2	雨水調整池の設置・適正な維持管理	調整池の設置、設置の指導／調整池の維持管理			(実施主体による取組)				
3	緑地の保全・緑化の推進	市街地・住宅地の緑化／家庭・事業所の敷地内の緑化／農地の保全・活用／水田を活用した貯留等の取組推進／緑地の保全		●	流域治水	※1	流域治水部会		
4	湧水・地下水の保全・活用	湧水調査・地下水利用調査・情報共有／地下水の適正利用の推進		●	流域治水	※1			
5	下水道の普及	下水道の整備／下水道への接続			(実施主体による取組)				
6	合併処理浄化槽への転換 (高度処理型合併処理浄化槽の導入)	合併処理浄化槽への転換／高度処理型合併処理浄化槽の普及	生活排水処理率		(実施主体による取組)				
7	浄化槽等排水処理機能の維持	浄化槽の適正管理の推進／農業集落排水施設等の適正な維持管理			(実施主体による取組)				
8	家庭における負荷削減	家庭でできる生活排水対策の普及／環境家計簿(くらしの点検表)の普及			(実施主体による取組)				
9	環境にやさしい農業の推進	環境にやさしい農業の実施／環境にやさしい農産物の販売促進			(実施主体による取組)				
10	循環かんがいの推進	循環かんがいの施設整備			(実施主体による取組)				
11	畜産系の負荷削減	家畜排せつ物処理施設の設置／畜産堆肥野積みの防止／家畜堆肥の畑地へ過剰還元防止			(実施主体による取組)				
12	事業所系の負荷削減	事業場排水等の規制指導強化／廃棄物・残土埋立地の適正管理／環境に配慮した産業の育成・誘致(税制優遇等)			(実施主体による取組)				
13	水辺エコトーンの保全・再生	水辺エコトーンの整備・改良・維持管理／水辺エコトーン整備箇所を活用した環境学習やレクリエーションの実施／新たな指標の設定	植生帯整備(新規)、既存整備箇所の改良 新たな水環境評価指標の設定	●	水環境	①水辺エコトーンの保全・再生	水環境部会		
14	水草の保全・活用	河道植生の保全・復元／水草の系統維持／オニビンの管理・活用	適切な水草の系統維持の実施	●	水環境	②水草の系統維持			
15	河川・水路等における直接浄化	浄化施設の維持管理			(実施主体による取組)				
16	河川・沼・道路・側溝の清掃等	路面・側溝等の清掃／河川・水路内堆積物の除去／ゴミ清掃／植生の草刈り／不法投棄対策／水質事故の監視体制強化			(実施主体による取組)				
17	その他水質改善対策の検討	印旛沼の水質形成機構の解明／新たな水質改善対策の検討		●	水環境	③その他水質改善対策の検討	水環境部会		
18	エコジカル・ネットワークの推進	エコジカル・ネットワークの形成／ピオトープ・湿地帯の整備／耕作放棄地の解消／生物多様性の保全(生物多様性地域戦略等)／生物多様性への配慮指針(チェックリスト)の策定		●	流域治水				
19	多自然川づくりの推進	多自然川づくりの実施／環境に配慮した農業排水水路の整備・管理		●	流域治水	※1			
20	谷津及び里山の保全・活用	自然(谷津等)の保全・再生(グリーンインフラ機能の保全・向上)／法的措置等による保全／間伐・枝打ち・下草刈り等森林の維持管理／環境学習やレクリエーションの場としての活用／担い手の育成	グリーンインフラ機能向上のための取組が展開されている自然(谷津・里山等)の箇所数	●	流域治水	②あらゆる関係者の連携による流域治水対策の推進(印旛沼モデル)			
21	外来種の駆除	ナガエツルノゲイトウ、カミツキガメ等特定外来生物の駆除／外来種の分布調査、情報発信		●	流域治水				
22	流下能力の向上	河道整備による流下能力の向上	河道整備延長	●	流域治水				
23	治水施設の質的改良	排水機場整備・改修／計画堤防高の確保		●	流域治水				
24	治水のための弾力的な施設運用管理	予備排水の実施／弾力的な施設運用の検討		●	流域治水	①河川管理者・関係機関による治水対策・減災対策の推進	流域治水部会		
25	避難体制の確保	洪水ハザードマップの作成・更新／危機管理型水位計の設置／河川監視カメラ等の設置／マイタイムラインの作成支援／要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援／災害訓練、水防教育の実施／防災アプリの配信／報道機関やSNSを活用した防災・避難情報等の情報提供の促進／その他避難体制の確保に関する対策		●	流域治水				
26	治水施設以外の施設の治水活用	農業用施設等の治水目的以外で整備された施設等の治水活用の検討	水田貯留の取組の実施数	●	流域治水				
27	その他流域治水メニューの検討	下水道雨水幹線の整備／下水道施設の耐震化、耐水化／雨水排水施設(雨水排水ポンプ場、排水門等)の整備／排水ポンプ運転調整ルール策定／立地適正化計画の見直し(居住誘導区域への災害リスクの考慮)／事業継続計画(BCP)の策定／不動産取引時の水害リスク情報提供／各種行政計画等への流域治水・グリーンインフラの具体施策や方針の位置付け	谷津の保全・活用等のグリーンインフラの取組が位置付けられている行政計画の数	●	流域治水	※1			
28	印旛沼流域かわまちづくりの推進	水辺拠点・ミニ拠点(一里塚)の整備等水辺の利用促進／地域と連携したイベントの開催等印旛沼の魅力向上の推進		●	水辺活用	①かわまちづくり計画による拠点整備・ネットワーク化			
29	水辺を活用したまちづくりの検討	水辺を活用するための河川区域の上面利用(ハード整備)／水辺のレジャー利用の促進／周辺施設(観光施設、民間施設等)との連携／自然、歴史・文化、農産物、水産資源等の地域資源の活用／公共施設等の見学／ロゴタイプ、シンボルマークの作成、案内看板の設置／環境保全施策との連携、水質浄化、水草再生のPR／その他の水辺活用の対策	水辺を活用したイベントの実施数	●	水辺活用	②印旛沼・流域における水辺の利活用方策の検討・実施			
30	小中学校等における印旛沼学習の推進	環境学習教材の作成・活用／教師への支援体制の確立	指導案集を使用した環境学習の実施数、教員研修会実施数	●	学び	①小中学校等での印旛沼学習の実施			
31	市民の印旛沼学習の推進	学習会、講演会等の開催／生涯学習との連携	印旛沼に関する講座の実施数	●	学び	②市民への印旛沼の学びの場の提供	水辺活用・連携部会		
32	広報(双方向コミュニケーション)	多様な媒体を用いた印旛沼の情報共有／印旛沼の歴史・水文化の整理・発信／コミュニケーションの推進／スゴインバー等キャラクターによる広報活動	WEBサイトのアクセス数	●	広報	①健全化の取組や印旛沼の魅力発信する広報の充実 ②ウイズコロナ・ポストコロナ時代のイベントのあり方の検討			
33	市民活動の連携・協働	市民・市民団体の応援／印旛沼連携プログラムの推進・強化／交流拠点・支援センターの充実・活用／印旛沼・流域再生大賞の検討	市民団体、企業等の活動の紹介数	●	広報	②印旛沼・流域をフィールドとする団体等の活動に焦点を当てた広報や交流の場の創出			
34	環境調査の実施	水質・生物調査の実施			(実施主体による取組)				
35	研究・技術開発の促進	研究・技術開発の促進			(実施主体による取組)				
36	経済的措置の検討	取組推進のための新たな財源確保の検討			(実施主体による取組)				
37	制度化の検討	制度化の検討			(実施主体による取組)				
38	負荷総量削減の可能性の検討	負荷総量削減の可能性の検討			(実施主体による取組)				
39	気候変動による流域への影響、緩和・適応策の検討・推進	気候変動による流域への影響、緩和・適応策の検討		●	流域治水	※1	流域治水部会		

対策群を取りまとめ 実施主体への調査により把握(詳細は別冊参考資料集に整理)

⑤水道に適した水質	★2-MIB、トリハロメタン生成能が改善する
①水質	★クロロフィル a ：年平均110µg/L以下 ★COD ：年平均10mg/L以下
②アオコ	★アオコの発生が目立たなくなる
③清澄性	★透明度が改善する (0.4m程度) ◆植生帯整備箇所において透明度が改善する
④におい	★臭気が少なくなる
⑦湧水	★注目地点での湧水が枯渇しない ★低水流量が増加する ◆谷津(取組箇所)の湧水が枯渇しない ◆谷津(取組箇所)において湧水の水質が改善する
⑧生き物	◆植生帯整備箇所の水生植物群落の保全・再生される ◆植生帯整備箇所の生物多様性が維持・向上する ◆系統維持拠点の沈水植物が維持・保全される ★特定外来生物の被害を軽減する ★水生植物群落を保全・再生する ◆耕作放棄地の湿地化等により湿地性生物が保全・再生される
⑨水害	★治水安全度が向上する ◆取組箇所(地先)での治水効果が現れる
⑥利用者数	◆佐倉ふるさと広場の来場者数、道の駅やちよの来場者数が増加する